

今回からスペースの都合でベクトルを横に書きますが、もちろん縦でも構いません。

1. $S^2 := \{u \in \mathbb{R}^3 \mid |u| = 1\}$ とし, $V_+, V_- \subset S^2$ を次のように定義する:

$$V_+ := \{(x, y, z) \in S^2 \mid -1 < z\}, \quad V_- := \{(x, y, z) \in S^2 \mid z < 1\}.$$

- (1) $V_+ \cup V_- = S^2$ を示せ.
- (2) $\varphi_+ : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3$ を次のように定義する. $a = (s, t) \in \mathbb{R}^2$ に対し, \mathbb{R}^3 の点 $(s, t, 0)$ と $(0, 0, -1) \in S^2$ を結ぶ直線が V_+ と交わる点を $\varphi_+(a)$ と定める. $\varphi_+(a)$ を s, t の式で表し, すべての $a \in \mathbb{R}^2$ に対し $\varphi_+(a) \in V_+$ であることを示せ. 従って $\varphi_+ : \mathbb{R}^2 \rightarrow V_+$ とみなせる.
- (3) $\varphi_+ : \mathbb{R}^2 \rightarrow V_+$ は全単射であることを示せ. また, Jacobi 行列 $D\varphi = \begin{pmatrix} \frac{\partial \varphi}{\partial s} & \frac{\partial \varphi}{\partial t} \end{pmatrix}$ の階数は, 任意の $a \in \mathbb{R}^2$ において 2 であることを示せ. これにより, φ_+ は各 $p \in V_+$ の近くでの S^2 の局所座標になることがわかる.
- (4) $a = (s, t) \in \mathbb{R}^2$ に対し, \mathbb{R}^3 の点 $(s, t, 0)$ と $(0, 0, 1) \in S^2$ を結ぶ直線が V_- と交わる点を $\varphi_-(a)$ と定める. (2), (3) と同様にして, $\varphi_- : \mathbb{R}^2 \rightarrow V_-$ は各 $p \in V_-$ の近くでの S^2 の局所座標になることを示せ.
- (5) φ_{\pm} の逆写像 $\varphi_{\pm}^{-1} : V_{\pm} \rightarrow \mathbb{R}^2$ を具体的な式で表せ.

注. この φ_{\pm} あるいは逆写像 φ_{\pm}^{-1} を立体射影 (stereographic projection) とよぶ.

2. (1) S^2 上の任意の点は $(\cos \alpha \cos \beta, \sin \alpha \cos \beta, \sin \beta)$ ($0 \leq \alpha \leq 2\pi, -\frac{\pi}{2} \leq \beta \leq \frac{\pi}{2}$) の形に表せることを示せ. (ヒント: \mathbb{R}^3 の極座標)

S^2 の部分集合

$$A := \{(x, 0, z) \in S^2 \mid x \geq 0\}, \quad B := \{(x, y, 0) \in S^2 \mid x < 0\}$$

を考え, $V := S^2 \setminus A, W := S^2 \setminus B$ とおく.

- (2) $U := (0, 2\pi) \times \left(-\frac{\pi}{2}, \frac{\pi}{2}\right) := \{(\alpha, \beta) \in \mathbb{R}^2 \mid 0 < \alpha < 2\pi, -\frac{\pi}{2} < \beta < \frac{\pi}{2}\}$ とおく. $\varphi : U \rightarrow V$ を $\varphi(\alpha, \beta) := (\cos \alpha \cos \beta, \sin \alpha \cos \beta, \sin \beta)$ で定義すると, φ は各 $p \in V$ の近くでの S^2 の局所座標になることを示せ.
 - (3) $\psi : U \rightarrow W$ を $\psi(\alpha, \beta) := (\sin \alpha \cos \beta, \sin \beta, -\cos \alpha \cos \beta)$ で定義すると, ψ は各 $p \in W$ の近くでの S^2 の局所座標になることを示せ.
3. (1) $S := \{(x, y, z) \in \mathbb{R}^3 \mid x^2 = y^3\}$ とおく. S を図示せよ.
- (2) $\mathbf{0} \in S$ の近くで S の局所座標を取れないことを示せ. 従って S は曲面ではない. (ヒント: $\varphi(a) = \mathbf{0}$ となる $a \in U$ に対し $\frac{\partial \varphi}{\partial s}(a) = \mathbf{0}$ を示す)
4. (1) $S := \{(x, y, z) \in \mathbb{R}^3 \mid z = \sqrt{x^2 + y^2}\}$ とおく. S を図示せよ.
- (2) S は曲面ではないことを示せ. (ヒント: $\mathbf{0} \in S$ の近くで局所座標を取れないことを前問と同様に示す)
- (3) $S \setminus \{\mathbf{0}\}$ は曲面であることを示せ.
5. $S \subset \mathbb{R}^3$ の各点 $p \in S$ の近くで S の局所座標を取れるとき, S の座標系が存在することを示せ.
6. $u, v \in \mathbb{R}^3$ を一次独立なベクトルとすると, $u, v \perp u \times v$ であることを示せ. また $(u, v, u \times v)$ は \mathbb{R}^3 の基底をなすことを示せ. (第 1 回目にやりましたが, 次回以降使うので再掲しました)
7. $(x, y, z) \in \mathbb{R}^3$ に対し $x = r \cos \theta, y = r \sin \theta$ (ただし $0 \leq \theta < 2\pi, r \geq 0$ とする) とおくと, (r, θ, z) を円柱座標とよぶ.
- (1) 円柱座標で一意的に表せない \mathbb{R}^3 の点を全て求めよ.
 - (2) 球面 S^2 を円柱座標で表せ.
 - (3) 円柱座標で $r = 1$ で表される図形 A を図示せよ. また A を xyz 座標で表せ.
 - (4) 円柱座標で $(r-2)^2 + z^2 = 1$ で表される図形 T を図示せよ. また T を xyz 座標で表せ.

(提出の必要はありません)

幾何入門レポート問題 8 (2016 年 6 月 10 日)

担当：境 圭一

$f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$ を C^∞ 級関数とし, そのグラフを $S := \{(s, t, f(s, t)) \in \mathbb{R}^3\}$ とする. $\varphi: \mathbb{R}^2 \rightarrow S$ を $\varphi(s, t) := (s, t, f(s, t))$ で定義するとき, φ は単射であることを示せ. また $D\varphi$ は常に階数 2 であることを示せ.

(6/17 の 3 限開始時まで提出してください)

http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/16_geometry/16_geometry.html